

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|---|
| 事業名 | 長野県出身の首都圏在住の若者のUターン促進事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 一般社団法人信州若者会議 |
| 事業区分 | ⑥産業振興、雇用拡大に関する事業：オ) その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 3,880,259 円 (うち支援金：2,904,000 円) |

事業内容

＜第3回信州若者1000人会議2015＞
「自分が変わる、信州が変わる日」というテーマの下、参加者一人一人が自分の地元を深く知り、自ら一歩踏み出したいと思えるようなイベントにしよう企画、運営してきた。具体的には長野県に縁のある著名人による講演、学生プレゼンターによるプレゼン大会を通して感じたこと等を交流会において「宣言」をしてもらった。
日程：6月27日土曜日
場所：恵比寿ザ・ガーデンホール
参加人数：217名

【当日の様子】



事業効果

- ①第3回信州若者1000人会議の参加者が200名を超えた。
- ②グループワークや自由交流で社会人や企業の方と話をすることで、長野県で働くことへのポジティブなイメージを抱くことができた。このイベントを通してUターン就職への意識が高まったかという質問に対し、56%の人が高まったと回答している。
- ③県内の17の企業・団体が参加し若者に対して自社のアピールができた。
- ④学生プレゼンでは7名の学生が長野県に対して自分のやりたいことを発表し、企画の賛同者を募っていた。特に高校生が東京で地元の野菜を売る販売実習の参加者募集というプレゼンに対して、会場の24%の人が参加したいと言っていた。

【目標・ねらい】

- ①社会人と学生が交流できる場を提供する
- ②都内在住の若者がUターン就職について意識し始める
- ③長野県の企業が学生に自社のアピールができる
- ④学生プレゼンターが自身の企画について情報の発信、募集ができる。

今後の取り組み

今回の参加者の中でUIターン希望の方へ対してのアフターフォロー（説明会の紹介や弊社イベントの告知等）を行い、より現実的にUIターンを実現するためのプロセスを提示する。
来年度へ向けての実行員の立ち上げを行い、より多くの学生の活躍の場を作り出すとともに、地元を考えるきっかけや、信州にゆかりのある人同士の繋がりを生み出す。

※自己評価【B】

【理由】

- ・イベントを通じて長野県へのU・Iターンの意識が高まったと回答した割合が56%にのぼった。
- ・イベント後のアンケートにて、将来長野県で就職したいと思うか尋ねたところ、「迷っている」を含めると81%が長野県で就職したいと回答した。
- ・長野県出身者や長野県にゆかりのある人同士がつながる場を提供できた。
- ・参加者数が予定した数より少なかった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある